

- 出席者：実行委員 15名
- 日時：2019年1月13日 13:00～13:30
- ご意見；
 - ・ 用意した手袋の種類（薄手、ゴム製）が良かった。手にフィットして使いやすかった。1箱（100枚、50組分）では不足した。
 - ・ きな粉と砂糖の分量が（準備してあったもの）が、そのまま計らずに混ぜ合わせるだけで、良かった。
 - ・ 除菌シート（107山田さんからの頂きもの）が、テーブルの除菌などに役立ったので、1袋購入して置くと良い。
 - ・ 設営から後片付けまで、写真に残して置きたい。
 - ・ 今年は、風がなかったが、前庭入口からの通路の防風対策を検討したい。ネットやビニールカーテンなど
 - ・ 集会室から前庭に降りるステップ（今年は屋上から古い資源回収ボックスを4個降ろした）を検討したい。丈夫で安全なもの
 - ・ ここ数年で一番 良い餅つきだった。
 - ・ 一番古い大きい杵の取手が折れた。杵本体も、1/3ぐらい削ってあるので、来年は更新したい。
→ 来期の自治会予算に盛り込むよう、役員会に依頼する
 - ・ もちつき大会は継続してやっていきたい。もっと参加を促すには？
 - ・ 成型・パック詰めは、堤崎さんが仕切ってくれたので、うまく回った。
 - ・ ゴム手袋が不足した（途中で1回は交換が必要）
 - ・ 夏祭りの焼きそばに、髪の毛が入っていたとのクレームを受けて、使い捨てのヘアキャップを今年から準備、餅つき、成型、パック詰めの実行委員全員に着用してもらった。
 - ・ 使い捨てのマスクも以前から準備していたが、今年から着用を実行委員に促した。
 - ・ 手袋も、夏祭りの焼き鳥、焼きそば食材準備用に用意した、ポリエチレン製の手袋が不評だったので、薄手のゴム製を用意した。途中で交換が必要となるのは想定できなかった。
 - ・ 成型、パック詰めは、事前に真野さんが作成した配置図をもとに、実行委員で打ち合わせを行った。
 - ・ 前日、雨の予報（実際に降雨があった）だったので、急きょ、ブルーシートで前庭を養生・保全したが、餅つき会場がぬかるむことなく良かった。（ブルーシートは、1階倉庫に保管されているものを使用）
 - ・ 集会室内の成型・パック詰めは、人数が13～14人でちょうど良かった。あまり多いと、動線が悪くなる。
 - ・ 今年は、あんこ餅の作り方として、成型した餅をパックに入れ、上からあんこを

被せる方法をとったが、餅がパックにくっついて取れなくなり、不評だった。

- ・ 餅つきが楽しくできた。
- ・ 事故もなく無事に終わって良かった。
- ・ 餅の分量は、20 kgでちょうど良い。
- ・ つき手に若手が欲しい
- ・ 今年初めて、暖房用にファンヒーターや電気ストーブを準備したが、屋外での使用で効果は限定的だった。
- ・ 餅の配布方法は工夫して欲しい。集会室前に、「ご自由にお持ちください」と貼り出したが、1人でたくさん持って行く人がいた。
以前は、前庭で配っていたが、取りに来づらい人も多いようで、餅の分量が18 kgでも、大量(20パック以上)に余っていた。集会室前で配布するようにしてから、20 kgでも不足するようになった。
- ・ つき手が楽につけるのは、ひと臼=2 kg程度。多すぎると、時間がかかり餅のできも悪くなる。
- ・ 蒸し布は、1回使ったものを使いまわすと、「蒸気の通り」が悪くなり、もち米が蒸されにくくなるため、1回ずつ新しいものに変えた方が良い。現在、8枚(今年1枚購入)したので、あと2枚は欲しい。
- ・ 1週間前の天気予報には心配したが、実際には天気が良くなってよかった。
- ・ 甘酒が大量に残った。途中で焦がしてしまったのも原因。来年は分量を減らして良いのでは？